自然観察活動記録「武田尾」

記録者：3 班　栃尾憲雄

①　実施日　　　　：令和 6 年 10 月 11 日（金）　天候：晴れ(素晴らしい秋晴れ）　気温：20℃

②　集合場所・時間　：ＪR 武田尾　午前 10 時

③　参加人数　　　：１８人（1 班ー５人、2 班ー6 人、3 班ー７人）

④　観察コース　　：ＪR 武田尾駅〜武庫川左岸〜武庫川右岸〜配線後〜親水広場＝13 時解散

⑤　観察内容　　　：担当班近藤班長の注意事項等の挨拶、菅担当の見どころの話を聴き観察に出発

　早速ヤクシソウが黄色い花を観させてくれた。秋は実りの秋というが花よりも実が多い。シモツケは葉だけだったがアメリカイヌホオズキ、エノキグサ、ヌルデ、フジ、ウツギ、オニグルミイタドリ、コアカソなかでもノブドウの実は美味しそうに見える。もう一つクマノミズキの果序の枝が紅色でサンゴのように見えるのは鳥の目につきやすいようになっているのだ。実ばっかりの中にツメレンゲが咲き始めていた。　全員感激!!

ツメレンゲの溝に咲いていた花をセンダングサ？菅さん、氏家さんの同定でメナモミと決定、アケビ、ミツバアケビは葉っぱだけで実をつけていないとブツブツ言いながらトンネルに入る。出たら左にヤブガラシ、右にマメツダ、上にニガキ。橋の手前右にコアカソ、カラムシ、ヤマブキ、ナンテン。橋を渡りながら右にクズ、キリの実を観る。橋を渡るとセイダカアワダチソウ、クサフジウツギ、ヒヨドリバナ、ヨモギ、イタドリ、アキノノゲシ、アレチヌスビトハギ、ミズヒキ、コセンダングサ、イヌタデなどの実や花が、武田尾では珍しいドングリの実アラカシがあった。右岸を下っていくとアオキ、イヌタデ、メヤブマオ、ミソソバ、テイカカズラ、ムラサキシキブ、コバノガマズミ、ヤブムラサキ、イボタノキなどの実や花。つまらないと思いきやアキチョウジミカエリソウが咲きかけていた。キブシ、サンカクヅル、カエデドコロ、ノササゲ、ミツバウツギの珍しい形の実、アオツヅラフジの実。フユサンショウ、ガマズミの美しい実も。センニンソウ、ボタンヅルの花と実も観られた。“ああベンケイソウ”との声岩場に凛と咲いていた。下の溝にタカサブロウが咲いていた。湿った谷沿いにヒナタノイノコズチ、ボンドクタデ、オオオナモミの花。橋の手前の溝にコブナグサ、キツネノマゴ、ヒヨドリバナ、ボタンヅルの花が観られた。12 時廃線後入り口で昼食、12 時 30 分出発。その場所にマルバルコウソウの花。今日最高の見せ場は何といってもリンボクの花を観られたことです。親水広場に到着。集合写真を 13 時に解散。三々五々思い通りに行動。楽しかった❣

朝礼の風景	ツメレンゲ	クマミズキの果柄
ベンケイソウ	リンボクの花と葉	ツルウメモドキの果実